

2018年9月1日 ▶ 2019年8月31日

株式会社 **ヒマラヤ**
(証券コード 7514)



ごあいさつ



代表取締役社長 COO 後藤達也

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ2019年8月期（当社第44期）（2018年9月1日～2019年8月31日）の決算を行いましたので、ここにご報告させていただきます。

当期の日本経済の動きについて

当連結会計年度（2018年9月1日～2019年8月31日）における我が国の経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性などに対する懸念が残る中、政府の経済政策や金融政策により緩やかな回復基調で推移しました。企業の景況感改善へと向かい、個人消費にも緩やかな持ち直しの動きが続いてきました。

当期の業績について

当社グループが属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、健康への意識の高まりによるスポーツ参加の動きが堅調に推移しており、1年後

の2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて大きな期待が高まっております。一方、EC市場の拡大により、お客様の購買動向の変化が進行しております。

このような状況下、当社グループはEC販売システムへの投資により、販売サイトの利便性を高め、EC市場でのシェアの獲得を推し進めるとともに、拡大するEC市場のお客様をリアル店舗へ送客する仕組みを整えるなど、市場変化への対応を進めております。出退店の状況は、株式会社ヒマラヤにて1店舗を出店し4店舗を閉店いたしました。その結果、2019年8月末時点で当社グループの店舗数は全国で106店舗、売場面積は220,612㎡となり、前期比で店舗数は3店舗減、売場面積は8,128㎡減となりました。

売上については、上半期に暖冬の影響により防寒用のウェア、雑貨の販売が影響を受ける年となりました。商品別では、一般スポーツ用品は、同カテゴリーを主力とする子会社の異動の影響により、前期比96.2%となりました。ゴルフ用品は人気ゴルフクラブ発売年となり活況であった前年に対しての反動減により、前期比92.1%となりました。スキー・スノーボード用品は、降雪の少ないシーズンとなりファミリー層の動向が低調となった結果、前期比90.6%となりました。アウトドア用品は、キャンプ用品、アウトドアウェアが好調に推移し、前期比115.5%となりました。

連結売上総利益率は、価格競争の影響が強いEC販売が成長していることに加え、暖冬、少雪による在庫消化負担増の影響から、34.2%となり、前期に比べ0.7ポイント低下いたしました。

販売費及び一般管理費については、概ね計画どおりに推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度は連結売上高66,560百万円（前期比2.1%減）、連結営業利益867百万円（前期比27.9%減）、連結経常利益993百万円（前期比23.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益587百万円（前期比19.4%減）となりました。

（注）2017年12月28日に株式会社ビーアンドディーの全株式を譲渡し、連結子会社から除外しております。株式会社ビーアンドディーの業績は、2017年11月30日までを連結決算の対象とし、2017年12月1日から連結対象外となります。なお、連結対象期間中の株式会社ビーアンドディーの売上は全て一般スポーツ用品に含まれます。

次期の見通しについて

次期の国内経済の見通しにつきましては、政府による各種政策効果の発現が期待されるものの、2019年10月に実施された消費税増税による消費マインドの低下により国内景気が下押しされることに加え、不安定な国際情勢、世界経済の減速への懸念などから、景気動向は不透明であると見ております。

スポーツ用品販売業界におきましては、健康志向の高まりからスポーツ参加人口の増加が見込まれ、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて市場全体の活性化が期待されております。一方、EC市場の拡大により、実店舗以外での購買行動が一般化する中、個人消費は引き続き厳しい選別基準を伴うものと予測しており、動向を注視しております。

このような状況下、当社グループは、お客様に満足いただける専門性の高い接客力と商品力の維持向上、付加価値の高いプライベートブランド商品のさらなる開発を行うとともに、グループ全体での業務プロセスの効率化などにより生産性の向上および競争力の強化を図ります。事業拡大の手段として、従来のような実店舗出店に加え、EC領域への注力を進めております。既存店については、継続して改装を実施し、お客様にご支持いただける地域一番店と

して、売上高の増加に努めてまいります。あわせて、変化する市場の動向、お客様要望を踏まえた販売チャネル、サービス等の拡充を図ってまいります。前期までに「EC注文品の店頭受取機能」や「最短翌日納品が可能な店頭注文機能」など、実店舗とECの実質的な融合を意図した仕組みを構築しました。これにより、お客様の利便性を向上させるとともに、拡大するEC市場のお客様を実店舗へ送客することを可能としております。2020年8月期には、これらの仕組みを進化させていくとともに、スポーツの魅力をお客様に伝えるという役割を重視し、店頭人員の拡充と教育への投資を先行してまいります。

以上より、当社グループの2020年8月期の連結業績は売上高63,630百万円（前期比4.4%減）、営業利益700百万円（前期比19.3%減）、経常利益840百万円（前期比15.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益380百万円（前期比35.3%減）を見込んでおります。

新たなVisionについて

当社が属するスポーツ用品小売をとりまく事業環境は、情報のデジタル化に伴う消費者保有知識の増大、EC市場の拡大に伴う消費行動の変化、少子高齢化に伴う市場構造の変質などにより、従来の経営方針ではカバーしきれない転換点に直面しております。

この状況に際し、新たなビジョンを『世界一のスポーツの伝道者となる』と決めました。

ビジョンの実現のために、スポーツと商品に対する知識と技術を高め続け、スポーツ文化の定着と発展に貢献するとともに、お客様に最適なサービスと商品を提供してまいります。

2019年11月

連結会社の品目別売上高構成比

アウトドア用品

アウトドア用品は、里山登山や日帰りキャンプなど、身近な自然や美しい景色を楽しむ志向が、SNSなどの影響を受けて広がりを見せ、老若男女幅広い消費者による購買の高まりに支えられ、好調に推移いたしました。本格的な登山へとステップアップされる方への専門的な商品から、タウンユースに至るまで引き続き魅力的な商品構成に努めてまいります。



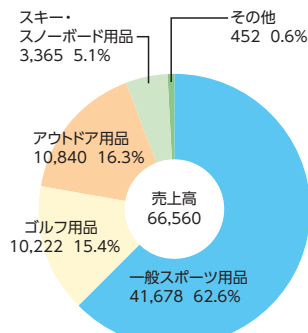
一般スポーツ用品

●競技スポーツ用品

サッカー、野球をはじめとした競技スポーツ用品におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピックを来年に控え、様々な競技での注目度が高まるものの、長梅雨や台風による大雨災害の影響などから屋内外での活動が抑制されたことにより、市場における購買は伸び悩んでおります。オリンピックでの日本の活躍を機に新たにスポーツを始める方々の需要に応えられるように、強化すべきカテゴリーの商品構成の見直しに努めてまいります。

スキー・スノーボード用品

スキー・スノーボード用品は、暖冬の影響による販売不振や、先期に展開店舗を縮小して効率化を図った影響により、売上は減少しました。全体の効率化を図りながらも、商品展開を基幹店舗に集約させることで、展開店舗あたりの品揃えは充実しており、当社が培ってきた加工や専門技術などの強みを活かしたサービスにて、お客様の期待に応えてまいります。



(2019年8月期 / 単位:百万円)

●テキスタイル用品等

テキスタイル用品市場は、暖冬による影響により冬物衣料や防寒アクセサリなどの販売が不振でありましたが、春物以降は順調に売上が推移し、ほぼ昨年並みの売上となりました。主力ブランドとの取組み強化による優位性を活かしながら、魅力ある商品の提供と売場提案に努めてまいります。

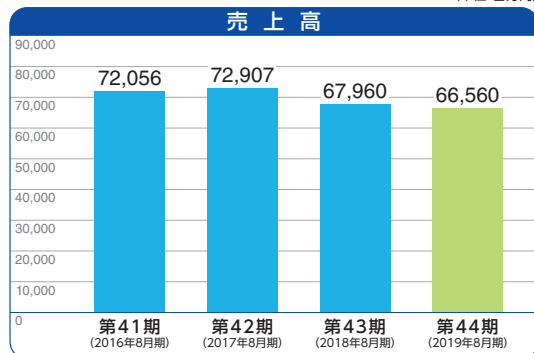
ゴルフ用品

ゴルフ用品市場は、新製品のゴルフクラブが好調であった昨年の反動減や、長梅雨などの影響でプレー環境が思わしくなかったことより、全体的には厳しい市場が継続いたしました。当社PBブランドの「アーノルドパーマー」においては、知名度の高さとデザイン性が支持されて、大変好評でありました。今後もご支持いただけるような機能性の向上にも努めてまいります。

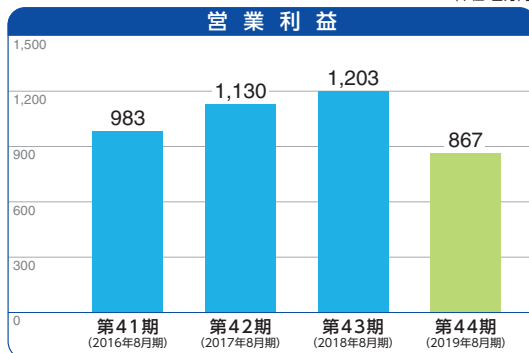


連結財務ハイライト

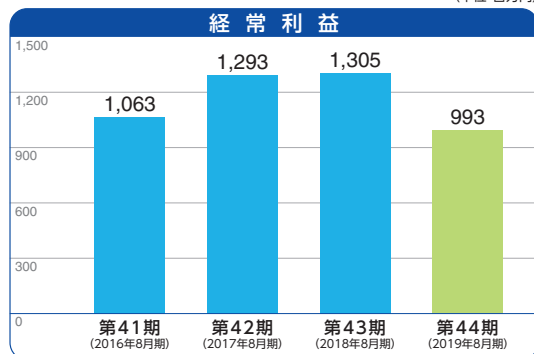
(単位:百万円)



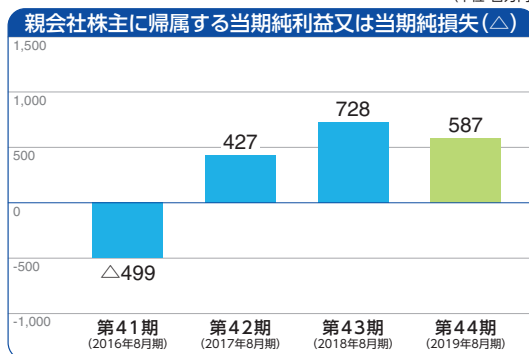
(単位:百万円)



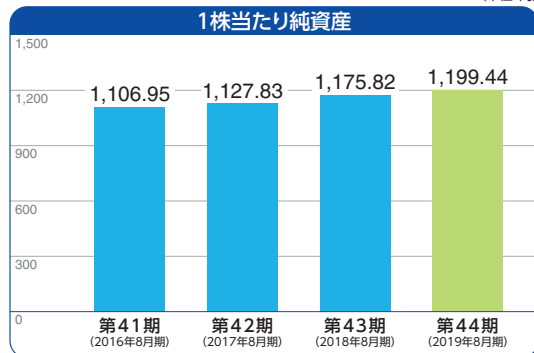
(単位:百万円)



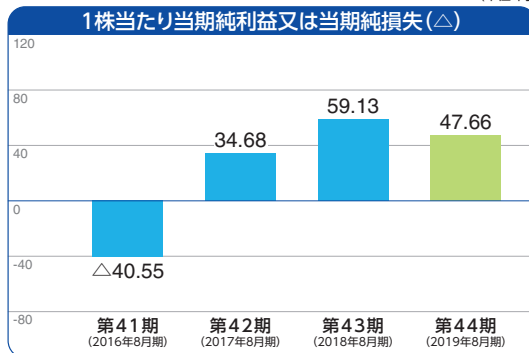
(単位:百万円)



(単位:円)



(単位:円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前 期 (2018年8月31日現在)	当 期 (2019年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	22,009	21,379
固定資産	13,077	12,296
資産合計	35,087	33,675
(負債の部)		
流動負債	14,721	14,358
固定負債	5,878	4,539
負債合計	20,600	18,897
(純資産の部)		
株主資本	14,499	14,840
その他の包括利益累計額	△12	△62
純資産合計	14,486	14,777
負債・純資産合計	35,087	33,675

当期のポイント

連結貸借対照表

当連結会計年度末における総資産は、前期末に比べ1,411百万円減少し33,675百万円となりました。

主な要因は棚卸資産が増加したものの、現金及び預金および有形固定資産が減少したことによります。

負債は、前期末に比べ1,702百万円減少し、18,897百万円となりました。

主な要因は長期借入金が減少したことによります。

純資産は、利益剰余金の増加などにより前期末に比べ291百万円増加し、14,777百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前 期 (2017年9月 1 日から 2018年8月31日まで)	当 期 (2018年9月 1 日から 2019年8月31日まで)
売上高	67,960	66,560
売上総利益	23,743	22,770
販売費及び一般管理費	22,539	21,902
営業利益	1,203	867
営業外収益	292	285
営業外費用	190	159
経常利益	1,305	993
特別利益	—	—
特別損失	749	136
税金等調整前当期純利益	556	858
親会社株主に帰属する当期純利益	728	587

当期のポイント

連結損益計算書

売上高は、上半期に暖冬の影響により防寒用のウェア、雑貨の販売が影響を受けたことにより、前期に比べ1,400百万円減少し66,560百万円となりました。

売上総利益は、前期に比べ973百万円減少し22,770百万円となり、売上総利益率は、前期に比べ0.7ポイント低下しております。

販売費及び一般管理費は、概ね計画どおりに推移し、売上高販管費率は、前期に比べ0.3ポイント低下しております。経常利益は、前期に比べ312百万円減少し993百万円となり、特別損失として減損損失を136百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は587百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前 期 (2017年9月 1 日から 2018年8月31日まで)	当 期 (2018年9月 1 日から 2019年8月31日まで)
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	2,906	△680
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△1,274	△419
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△1,505	△1,023
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	125	△2,123
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	4,563	4,689
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	4,689	2,566

当期のポイント

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加などにより680百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により419百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより1,023百万円の減少となりました。

これにより、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ2,123百万円減少し、2,566百万円となりました。



Vision

世界一のスポーツの伝道者となる



『仲間』=『Family』
～Happy Golf Life～

ゴルファーにとって一緒にプレーをする仲間は大切です。

そんな大切な仲間と「ゴルフを楽しむ」「ゴルフする喜びを分かち合う」「ゴルファーの絆」を共有し、アーノルドパーマーを着ることで、仲間意識と、共感を得ることができるブランドとして提案をしていきます。



同じブランドのウェアを着てラウンドする

いつもと違うラウンド(ゴルフ)をユーザーへ提案していく
同じブランドのウェアを着てラウンドするというイベント感(Happy)

仲間とともに作り上げていく

「トラッドテイスト」「コーディネイト」「着用シーンの汎用性」
アーノルドパーマーブランドを愛する仲間(Family)とともに成長させていきます。



2019年FW新登場！

BLACK LABEL: ブラックレーベル

着心地の良い素材・動きやすさを
追求したゴルフウェア

トピックス

「第15回 ヒマラヤ杯フットベースボール大会」



- ・ 2018年10月14日（日）予選リーグ開催
10月21日（日）決勝トーナメント開催

愛知県岡崎市および安城市にて、第15回ヒマラヤ杯フットベースボール大会を開催いたしました。

この地域で盛んなスポーツ「フットベースボール」を通じ、子供から大人まで皆が触れ合える地域交流の場として毎年開催しております。

フットベースボール大会以外にも選手の皆さんが楽しい1日を過ごせるように、3種類のチーム対抗イベントやマジックナイン、キックスピードなどのお楽しみイベントも充実させました。

全50チームによる予選リーグから決勝トーナメントまで2週に渡って開催された本大会は熱戦あり、笑顔あり、涙あり、感動あり例年以上に盛り上がる中、「北野パンサーズ」チームの初優勝で大会は幕を閉じました。

大会会場には関係者を合わせ約1,300人の来場があり、応援や歓声が行き交う、活気ある大会となりました。

これからもスポーツの楽しさと夢と感動を伝えられるイベントを継続してまいります。

「FC岐阜 オフィシャルパートナー」



- ・ 2019年2月より1年間のサポート契約

2019 明治安田生命 J2リーグに所属する 株式会社岐阜フットボールクラブのプロサッカーチーム「FC岐阜」とオフィシャルパートナー契約をしております。

今年で7年目となります。

地元岐阜の強力なサポーターの応援を背にJ1参入を目指して戦っている「FC岐阜」を私たちは支援し、今後もスポーツ文化の繁栄と発展に努めてまいります。

「ヒマラヤバドミントン教室 in 岡山・山口」



- ・岡山：2019年7月6日（土）開催
- ・山口：2019年7月13日（土）開催

岡山・山口でバドミントン講習会を開催しました。

講師には元アテネオリンピック日本代表である森かおり様をお招きし、楽しくもハードにバドミントンの技術を教えていただきました。

元オリンピック選手からの直接指導が受けられると評判になったことで、会場には中学生から一般の方まで幅広い年齢層の方が多数ご参加され、熱気あふれるバドミントン講習会となりました。

講習会の最後には講師とのダブルスマッチも行われ、参加者の皆様にとっては、心に残る思い出深いイベントとなりました。

これからもスポーツの楽しさと夢と感動を伝えられる笑顔あふれるイベントを継続してまいります。

「岐阜陸上競技協会 ゼッケンスポンサー」



- ・2019年4月より1年間のサポート契約

陸上競技大会に参加する際に身につけるゼッケンのスポンサーとして、岐阜陸上競技協会をサポートいたしました。今年で3年目となります。

岐阜陸上競技協会に所属する約8,000人の会員が自分の力を最大限発揮し、少しでも今の自分の記録を更新できるようにと願いを込めてサポートいたしました。

これからもスポーツを通じて青少年の健全育成、地域活性化支援に努めてまいります。

「中日ドラゴンズジュニアチーム サポート」



・2018年10月より1年間のサポート契約

岐阜・愛知・三重・静岡県内の小学生を対象とした中日ドラゴンズ学童チーム：ドラゴンズジュニアをサポートいたしました。今年で5年継続しております。

セレクションで選ばれた選手は、中日ドラゴンズの下部組織として、憧れの中日ドラゴンズの選手と同じユニフォームを着てプレーをしました。

2018年12月に開催されました「NPB12球団ジュニアトーナメント」にはディフェンディングチャンピオンとして参戦いたしました。

大会では予選リーグを突破することができませんでしたが、仲間と共に常に全力で、必死に野球を追求する姿に心打たれました。

『ヒマラヤがサポートしたドラゴンズジュニアチームに所属していました』と話すプロ野球選手が現れることを夢見て、今後もスポーツを通じて青少年の健全育成に努めます。



「ピッチング&スイング スピードコンテスト 全国大会」



・コンテスト期間：2019年6月14日（金）～7月15日（月・祝）

ヒマラヤの中から20店舗を選定して「ピッチング&スイングスピードコンテスト 全国大会」を開催しました。

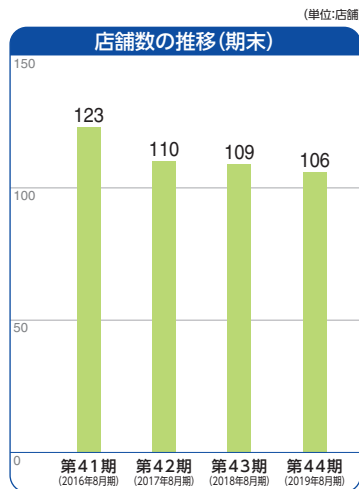
小学校各学年に区分けし、ピッチングとバットスイングのスピードを計測し、その合計数値を競い合う全国大会です。各クラスの上位1位～3位までを表彰いたしました。

野球やソフトボールを愛する少年・少女がチームではない、個人の力で戦う新しく斬新な全国大会として大変ご好評いただきました。

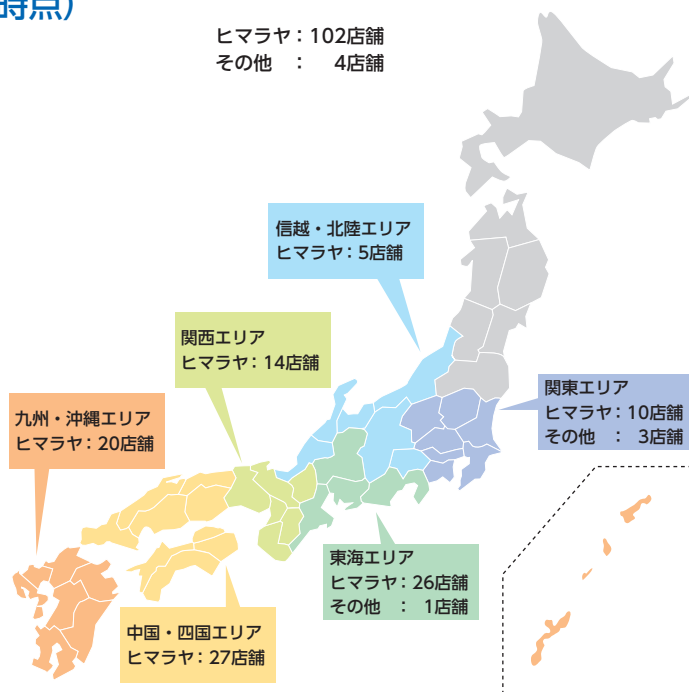
これからも夢や感動があふれる、わくわくする「コト」のイベントを継続して開催してまいります。

これからもスポーツの楽しさと夢と感動を伝えられるイベントやCSR活動を継続してまいります。

店舗網 (2019年8月31日時点)



ヒマラヤ：102店舗
その他：4店舗



最新の店舗網は当社ホームページをご覧ください。(ホームページアドレス <https://www.himaraya.co.jp/>)

HIMARAYA online

お買い物からイベント情報まで内容充実のウェブサイト

ヒマラヤメンバーズ

登録料・年会費 無料

会員登録募集!

「ヒマラヤメンバーズ」は全国のヒマラヤ店舗およびヒマラヤオンラインストアでおトクなサービスが受けられるヒマラヤの会員です。

△ QR コードでのアクセスはコチラから!

メールニュースに登録いただくと
お得なクーポンや最新情報をGET!

近所のお店を「マイ店舗登録」すれば
セール情報やイベント情報が確認できる!

オンラインストアで
お買い物がとっても便利に!!

会社データ

HIMARAYA

商 号	株式会社ヒマラヤ (HIMARAYA Co.,Ltd.)
代 表 者	代表取締役会長 CEO 小森裕作
証 券 コ ー ド	代表取締役社長 COO 後藤達也
本 店 所 在 地	7514 (東京証券取引所および名古屋証券取引所各第一部上場) 〒500-8630 岐阜県岐阜市江添1丁目1番1号 TEL 058-271-6622 (代表) https://www.himaraya.co.jp/
ホ ー ム ペ ー ジ	1991年
設 立	2,544百万円
資 本 金	677人 (単体)
従 業 員 数	
取 締 役	代表取締役会長 CEO 小森 裕作
(2019年11月27日現在)	代表取締役社長 COO 後藤 達也
	専務取締役 小森 一輝
	取締役 大野 輝文
	取締役 升 浩則
	取締役 (常勤監査等委員) 川村 祥之 (社外)
	取締役 (監査等委員) 加藤 文夫 (社外)
	取締役 (監査等委員) 西尾 嘉寿 (社外)

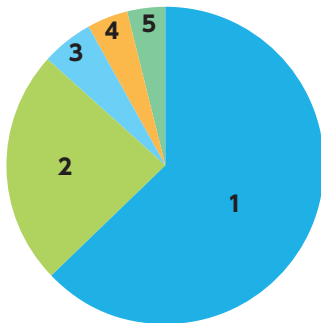
グループ企業の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)	主要な事業内容
コアブレイン株式会社	100	100	フルフィルメント事業

株式の分布状況

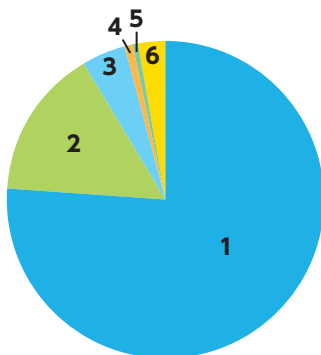
地域別分布状況（所有株数）

1 中部地方	62.83%
2 関東地方	24.01%
3 近畿地方	5.13%
4 その他地方	4.37%
5 外国	3.66%



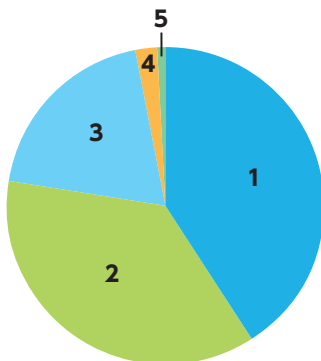
所有株数別分布状況（株主数）

1 100株以上500株未満	76.23%
2 500株以上1,000株未満	15.25%
3 1,000株以上5,000株未満	4.53%
4 5,000株以上10,000株未満	0.70%
5 10,000株以上50,000株未満	0.57%
6 その他	2.72%



所有者別分布状況（所有株数）

1 その他の国内法人	41.01%
2 個人その他(含自己名義)	36.75%
3 金融機関	19.19%
4 外国法人等(含外国個人)	2.49%
5 証券会社	0.56%



●配当政策および配当金

当社は、株主様への利益還元と財務基盤の強化を両立すべく、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、継続的な利益還元に努めてまいります。

当期の期末配当につきましては、利益配分に関する基本方針を踏まえ、1株につき10円とさせていただくこととなりました。これにより、中間配当を含めました当期の年間配当金は、20円となります。

株主優待制度

ヒマラヤの株式を100株以上ご所有の株主様に年2回、当社全店舗において商品をお買い上げの際にご利用いただける値引券を贈呈いたします。

贈呈基準

100株以上	500株未満	一律1,000円値引券×1枚
500株以上	2,000株未満	一律1,000円値引券×3枚
2,000株以上	5,000株未満	一律1,000円値引券×6枚
5,000株以上	10,000株未満	一律1,000円値引券×15枚
10,000株以上		一律1,000円値引券×30枚

基準日および贈呈時期

8月31日現在の株主様に対しては、
11月下旬に発送（有効期限 翌年11月30日）
2月末日現在の株主様に対しては、
5月下旬に発送（有効期限 翌年5月31日）



Shareholder Information

株主メモ

株 式 の 状 況	発行可能株式総数	40,000,000株
	発行済株式総数	12,320,787株
	株主数（2019年8月31日現在）	10,121名
	単元株式数	100株
事 業 年 度	毎年9月1日から翌年8月31日まで	
定 時 株 主 総 会	毎年11月開催	
基 準 日	定時株主総会	毎年8月31日
	期末配当金	毎年8月31日
	中間配当金	毎年2月 末日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	
公 告 の 方 法	公告の方法は電子公告であります。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。 (ホームページアドレス https://www.himaraya.co.jp/)	
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
株 主 名 簿 管 理 人	名古屋市中区栄三丁目15番33号	
事 務 取 扱 場 所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電 話 照 会 先	0120-782-031（フリーダイヤル）	
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

HIMARAYA

